

アロハー! 歴史的な第一歩

新たな交流の
幕開けです



ホノルル市ってどんなところ?

オアフ島にある人口34万人以上のハワイ州最大の都市。かつてハワイ王国の首都がおかれており、政治・文化の中心地として発展してきました。ワイキキビーチやダイヤモンドヘッドなど有名な観光スポットがあり、世界中から多くの観光客が訪れるリゾート都市です。また、パールハーバーをはじめとする戦争の歴史を伝える場所も多くあり、平和を学ぶことができる場所もあります。

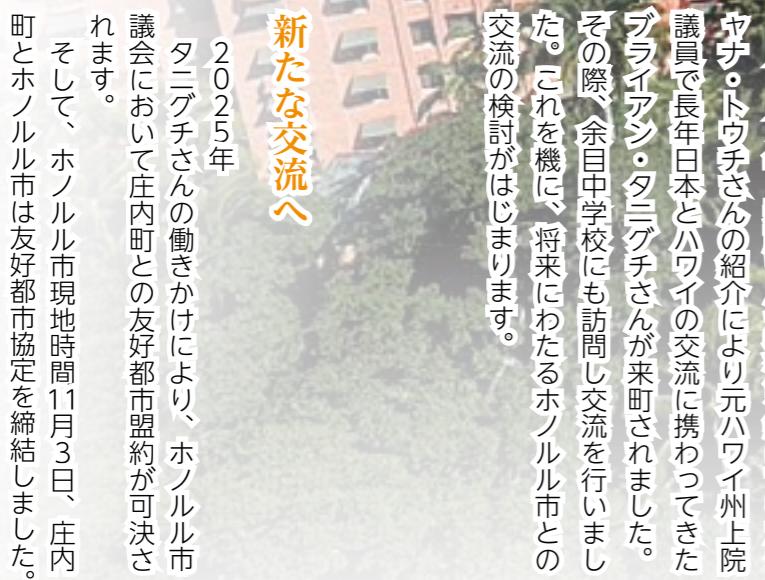
日本の自治体との友好都市は、大分県佐伯市、和歌山白浜町、大分県宇佐市など。「町」では庄内町が4例目、東北では初となります。



新たな交流へ

時を重ね、つながる縁

きっかけは町民の留学から



2025年
タニグチさんの働きかけにより、ホノルル市議会において庄内町との友好都市協定が可決されます。
そして、ホノルル市現地時間11月3日、庄内町とホノルル市は友好都市協定を締結しました。

2002年、庄内町（旧余目町）出身の安藤将士さん（現・安藤組グループ代表）が、ホノルルの高校に留学し、ホリムステイ先のトウチ家と出会います。

庄内町×ハワイ州ホノルル市 友好都市になりました

2025年11月3日（ホノルル市現地時間）、庄内町とアメリカ合衆国ハワイ州ホノルル市は友好都市となりました。異國の地である約6200Kmと遠く離れた両自治体の間に生まれた友情。

本特集では、友好都市になった経緯と調印式の模様を紹介します。

■問合せ：企画情報課まちづくり移住係 0234-42-0228

新年を迎えて 2026年

庄内町長 富樫透



謹 賀 新 年

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、庄内町誕生から20年という節目を迎え、新たな歩みを始める年となりました。

本町においては幸い大きな災害もなく、豊穣の秋を迎えられた1年となりました。しかしながら、自然災害に加え、頻発するクマの出没も安全・安心を脅かす新たな要因になっております。改めて、最新情報の共有と普段からの備えとともに「自助・共助・公助」の意識付けをお願いします。

さて昨年11月には、アメリカ合衆国ハワイ州ホノルル市と友好都市協定を締結しました。そして、今年3月には中学生による海外研修事業を

手・労働力不足、物価高等の諸課題が山積しています。これら、地域の防災力、安全・安

心をまちづくりの土台として、人と人がつながり持続可能でスポーツなど様々な分野で交流を生み出し、両地域の友情の絆を深め、更なる両地域の繁栄と発展につながるようになります。

そして、新年度からは第三次庄内町総合計画が、将来像である「みんながしあわせをかんじるまち」の実現を目指しスタートします。キーワードは、安全・安心に暮らせる住みごこちのよいまち、人と人がつながり未来を育むまち、地域資源を活かし選ばれる魅力あふれる豊かなまちの創造です。

少子高齢化や過疎化、担い手の減少、地域の防災力、安全・安



New Friendships

締結式はホノルル市の文化芸術イベント会場「ミッション・メモリアル・オーディトリアム」で行われ、リック・ブランジャルディ市長と富樫透町長が、トニー・ウォーターズ市議会議長と石川保町議会議長とともに、協定に署名し友好都市の盟約を結びました。

式の中では、「ロイヤル・ハワイアン・バンド・グリークラブ」と「ケ・クラ・カイアプニ・オ・オアヌエヌエ校」の生徒による文化パフォーマンスが披露され、庄内町からは米作りを中心とした伝統文化を紹介するなどの交流が行われ、終始温かい雰囲気に包まれました。



【令和8年3月に中学生海外研修】

一般応募のあった本町中学生6人が、4泊6日でホノルル市を訪れます。

現地の文化と歴史に触れ、学生との交流やホームステイを通して国際感覚を養うことを目的に実施します。本町では初の試みです。

【教育・産業・文化交流に期待】

友好都市締結をきっかけに、今後、様々な分野での交流や連携を生み出すことが期待されます。

山形県では2016年からハワイ州でブランド米「つや姫」をはじめとする県産農産物の販路拡大に取り組んでおり、10周年を記念し一層の相互交流を目指したプロモーションを実施しています。